

AWSコスト適正化のポイント

AWSコスト最適化のポイント

株式会社アイディーエス

SunnyCloud

目次

はじめに.....	4
AWS コスト最適化のポイント.....	5
AWS リセールサービスとは.....	6
AWS リセールサービスの特長.....	7
円建ての請求書でのお支払いが可能.....	8
AWS サポートが利用可能.....	8
再販事業者の持つ技術サポートが受けられる.....	8
アカウント管理方法.....	9
AWS リセールサービスなら SunnyCloud へ.....	10
おトクに.....	10
安心.....	11
お手軽.....	11
万が一の AWS インフラ保険が無料付帯.....	12
専用ポータルサイトの提供.....	12
まとめ.....	15

AWSコスト適正化のポイント

発行者	16
会社概要.....	16

はじめに

AWSを活用してみて、当初想定よりAWSに支払うコストが発生している、あるいは、AWSを利用してみよいかコスト試算をしてみたけど、オンプレミスの場合とほとんど変わらない、といったことが発生していないでしょうか。クラウドは「使ったら使った分だけ支払えば良い」サービスですし、サービスの拡張性、いつでもやめられるという特性、立ち上げまでのスピードなど、総合的にみてもオンプレミスよりも優れている点は多数あります。しかしながら、使い方を間違える定常的に高いコストが発生したり、できることが多いからこそ思わぬ高額請求が発生してしまうこともあります。そのため、AWSのコストを監視し、最適な状態を維持すること、つまりクラウドのコスト最適化は、クラウド利用においては必須だと言えるでしょう。

そこで本ホワイトペーパーでは、コストを監視し、最適な状態を維持するために有効なリセールサービスの活用について記載しております。リセールサービスの仕組みと特徴について、本ホワイトペーパーを通して、理解することができます。

AWS コスト最適化のポイント

AWS の利用料を最適化するためには、下記のような 4 つのアプローチがあります。

- ① リセールサービスを利用し、そもそもの利用料金に関する割引を受けたり、サポート利用コストを最小化する。
- ② 無駄な設定／利用サービスを定期的を確認し、利用を停止、あるいはリソース削除を行う。
- ③ リソースの最新化等により、より安いサービス利用に変更する。
- ④ アーキテクチャの見直しを行い、よりコスト優位な構成に変更する。

上記①～④の中で、最も簡単なのは①のリセールサービス利用であり、こちらは契約先を変更する（リセールサービスに申し込む）だけで、5%～15%程度の AWS 料金削減につながるため、コスト最適化を図る上でまず実行いただきたいこととなります。（詳細は次章以降に記載します。）

②について特に発生しがちなのが、テスト用に立ち上げた EC2 インスタンス、恒久的に取り続けているバックアップ、削除した EC2 にアタッチされていた EBS の残存などです。こういったリソースの削除は、手間自体はあまりかかりませんが、発見・あるいは削除して良いかの判断は既存のシステム担当者に確認するしかなく、特に担当者が入れ替わった場合に残存し続ける傾向があります。

③については、古い EC2 インスタンスよりも、最新のもののほうがスペックが高く、安くなる場合があります。EC2 のサービスアップデートは、少なくとも年に数回程度は行われていますので、1年に1

AWS コスト適正化のポイント

回程度はチェックすべきでしょう。ただし、インスタンスの入れ替えにはシステム停止等を伴う場合がありますので、十分に計画して実行する必要があります。

④は、サーバーレスやコンテナ化など、システム全体を最新のアーキテクチャに変更することで EC 2 などの常時発生する運用コストを最小化する方法です。場合によっては大きな金額を削減することが可能ですが、アプリケーションそのものにもかなり手を加える必要があります。実際に実行する上では入念な検討が必要となります。

AWS リセールサービスとは

AWS は、安全性、広範性、信頼性に最も優れたクラウドプラットフォームであり、世界中のデータセンターから 220 以上の完全な機能を提供しています。AWS クラウドは、全世界 26 の地理的リージョン内の 84 のアベイラビリティゾーン（データセンター）にまたがるグローバルクラウドインフラストラクチャです。AWS を利用するには、AWS アカウントを準備し、インターネット環境さえあれば、ブラウザから 1 クリックでサービスを開始し、Web サイト用のサーバーを容易することも可能です。

しかしながら、AWS は米国発のサービスであり、利用の際には日本の商習慣とは若干異なった手続きや考え方が必要となります。以前は、料金の支払方法が「クレジットカード決済」と「AWS の口座へ入金（海外送金）」の 2 通りしかなく、円建ての請求書に従い企業の口座に振り込み

AWS コスト適正化のポイント

入金するといった日本企業の商習慣とは異なる支払い方法となっていました。また、AWS の口座へ送金する際には、最低利用料金が設定されていることから、AWS を使い始めたばかりだと、振り込みによる料金の支払いすらできないケースもあります。

そこで、AWS のパートナーが提供する支払い代行のサービスが誕生しました。支払い代行サービスは、日本国内では「AWS 請求代行」、「AWS リセール」、「AWS 支払い代行」など呼ばれていますが、基本的に同じサービスを指しており、日本円で請求書払いをするという日本企業にとって便利な支払い方法を選択することができます。また AWS のリセールパートナーは、通常数百社以上のお客様との契約を持ち、AWS からボリュームディスカウントを受けることで毎月一律の割引を受けているため、AWS のエンドユーザ企業に対して利用料金を安く提供をすることも可能です。（※事業者によって違いがあります。）

さらに、リセールサービスによっては、単に安く AWS を利用できるだけでなく、クラウドコストを適切に管理するための料金可視化サービスが付帯する場合があります。このサービスを利用して AWS 料金を可視化することで、わかりにくい AWS の料金を理解／把握し、コントロールすることが容易になります。（※事業者によって違いがあります。）

AWS リセールサービスの特長

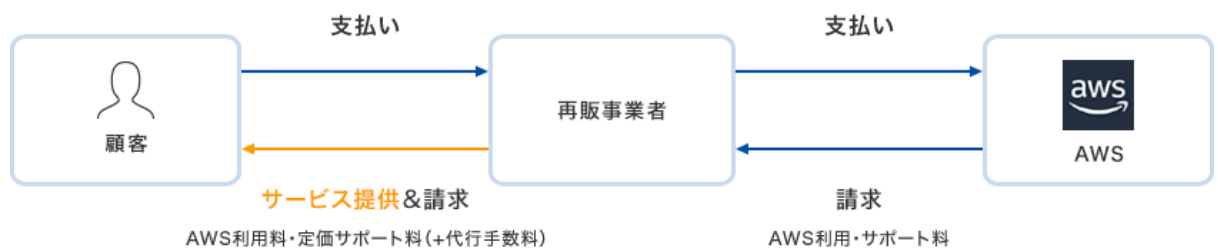
AWS リセールサービスの特長について、以下に詳細を説明いたします。

AWS コスト適正化のポイント

円建ての請求書でのお支払いが可能

リセールサービスを利用しますと、お客様は国内の再販事業者（請求代行会社）に料金を支払うことになるため、一般的な日本企業の商習慣に沿った方法、つまり、月末締め翌月末振り込み払いでの支払いが可能です。

さらに、再販事業者は仕入れ割引を受けている場合があります。その分、お客様が直接 AWS と契約を結んで利用するよりも、料金を安く利用できる場合があります。



AWS サポートが利用可能

リセールサービスでは再販事業者が、再販事業者の管理する AWS アカウント（支払いアカウント）で AWS サポートを契約しています。そのため、リセールサービスを利用する子アカウントで、個別に AWS サポートを契約する必要はありません。

再販事業者の持つ技術サポートが受けられる

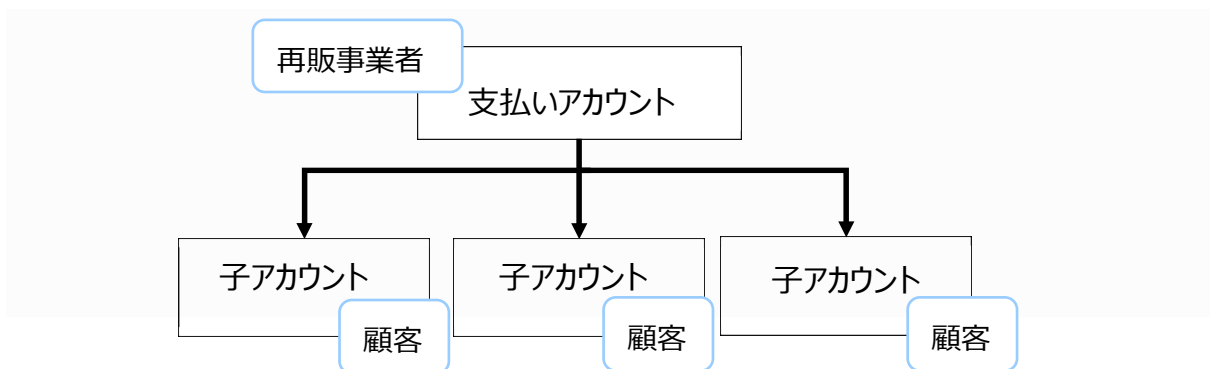
再販事業者に AWS のノウハウが蓄積されていれば、お客様は再販事業者から直接技術サポートを受けられる場合があります。ただし、AWS のサービスの範囲は非常に広範囲にわたり

AWS コスト適正化のポイント

ます。再販事業者を介することにより、回答までに直接問い合わせよりも時間がかかる場合もあるので、注意が必要です。

アカウント管理方法

AWS アカウントは、再販事業者が管理する AWS アカウントの Organizations の「組織」の所属となります。「組織」は再販事業者が管理するアカウントを「支払いアカウント」とし、お客様の各 AWS アカウントを「子アカウント」とする構成となります。



さらに、AWS リセールサービスでは、子アカウントの管理について、2つのアカウントモデルがあります。1つ目は、AWS アカウント、ルートユーザーを再販事業者が管理し、お客様には再販事業者が提供する IAM ^(※) ユーザーを払い出すアカウントモデルです。2つ目は、AWS アカウント、ルートアカウントをお客様が管理するアカウントモデルです。

(※) IAM : Identity and Access Management の略。IAM ユーザーは必要な AWS へのアクセス権のみを付与されたユーザーを指す

AWS リセールサービスなら SunnyCloud へ

SunnyCloud でも、AWS リセールサービス「Sunny Pay」を提供しております。上記で説明いたしましたリセールサービスの特長に加え、当社で提供する Sunny Pay のおすすめポイントは3つ「おトクに、安心、お手軽」です。さらに万が一に備えた AWS インフラ保険に無償でご利用いただけます。

おトクに

SunnyCloud は、お客様が利用する AWS をまとめて大量契約し、ボリュームディスカウントでの仕入れを行っています。そのため、Sunny Pay をご利用のお客様は、あらゆる AWS サービスの利用料金が5%オフになるのに加えて、AWS ビジネスサポートの無償でのご提供、保険などの付加サービスをお客様に還元しています。もちろんリザーブドインスタンスや Savings Plans も利用可能で、さらに割引対象となります。コスト戦略としてリザーブドインスタンスや Savings Plans を購入されるお客様も、さらにコスト削減の恩恵を受けることができます。サービスを利用するための最低利用期間や最低利用料金もなく、手数料は無料です。

この仕組みは、電気製品を買う際に、メーカーからネット通販などで直接買うと定価になりますが、家電量販店から購入すると割引になった上に様々な特典がついてくるということと似ているかもしれません。まずは、クラウドをおトクに利用するためには、リセールサービスを利用するのが良いでしょう。

AWS コスト適正化のポイント

安心

SunnyCloud は、AWS を利用する上で安心・安全に利用していただくため、AWS 社と包括的なビジネスサポートをお客様に提供できる契約をしています。そのため、お客様は直接 AWS 社へお問合せすることができ、お問合せの方法はメール以外に、電話、チャットも 24 時間 365 日利用ができます。

当社を経由することなく、直接 AWS にお問合せができるため、回答までのタイムラグも発生しにくく、サービス提供者として AWS が回答するため、確実な回答を得ることができます。この AWS ビジネスサポートは、通常は AWS 利用料金の 10%を支払うことで受けられるものですが、前述の通り SunnyCloud では AWS と包括的な契約を締結しているため、お客様はサポートのために別途料金を支払うことなく、無料で利用することができます。

お手軽

お客様は、お客様自身で AWS の ROOT アカウントを所有することができます。そのため、当社へ AWS アカウントの所有権を譲渡するなどの面倒な手続きが不要です。お客様がサービスのお申込みにあたり、各種申請や AWS アカウントの譲渡手続きを行う必要はありません。

なお、AWS と直接契約から SunnyCloud へ支払いの契約を切り替えしても AWS で構築したサービスのご利用はそのまま、契約変更前と変わりません。既に利用中の AWS アカウントも継続して、ご利用ができます。

AWS コスト適正化のポイント

万が一の AWS インフラ保険が無料付帯

1. 万が一 AWS に障害が発生した際の損害保険が無料付帯されます。この AWS インフラ保険は、東京海上日動火災保険株式会社との業務提携によるサービスです。AWS インフラ保険のお申込みをいただく必要がなく、Sunny Pay をお申込みいただければ、AWS 責任共有モデルの AWS 責任部分を補償します。契約形態は当社が保険契約者、お客様が被保険者となります。詳細は保険会社が定める約款で定義をしていますが、AWS の障害または停止に起因して発生した各種損害に対する補償と、サイバーセキュリティ事故対応費用に関する補償が受けられます。また、緊急時の初動対応や広報支援、コールセンター設置支援、弁護士相談など、専門事業者の紹介も可能です。

専用ポータルサイトの提供

当社で開発した専用ポータルサイト「Sunny View」を提供しています。Sunny View は無料で使える専用のポータルサイトで、コストの見える化を実現しています。Sunny View では、直感的に AWS 利用料を確認することができます。複雑な AWS 料金をグラフと表で分かりやすく表示しており、毎日の利用料推移を確認できます。そのため、高度な AWS の知識習得を必要とせずにコストを見える化し、人的な管理工数の削減に貢献します。また、FAQ での AWS 技術情報の確認も可能です。

管理ポータルサイトでは、実際に利用したサービス毎の利用料金に加えて、日次でのコスト推移を確認することができます。（図 1 日次でかかった料金確認イメージ）すべての AWS サ

AWS コスト適正化のポイント

サービスの利用料金の可視化により、どのサービスにコストがかかっているのか、簡単に把握した上で、無駄遣いの傾向を掴み、コスト増加を防止することができます。

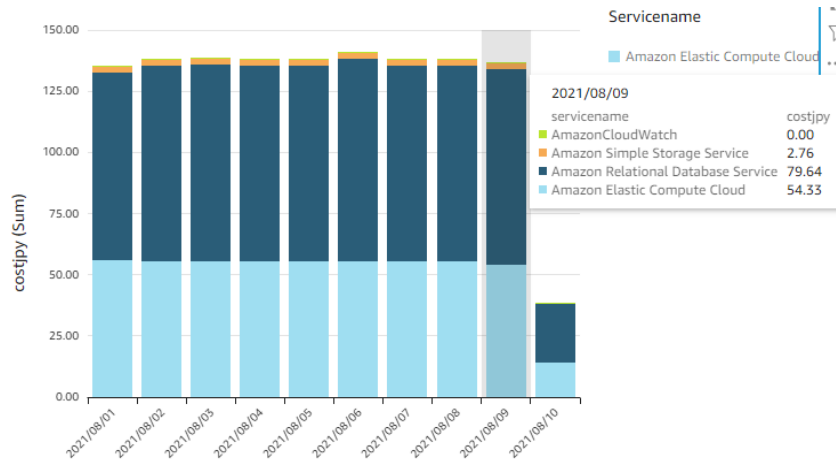


図 1 日次でかかった料金確認イメージ

6 ヶ月分の利用料推移もグラフで確認ができるので、新しいサービスを利用したとき、システムの構成変更を行ったときに、利用料を把握することができます。（図 2 6 ヶ月の利用料推移） うっかり使い過ぎの防止のための、アラーム機能も提供されているため、一定の料金を超えるとメールで通知を受け取ることもできます。

AWSコスト適正化のポイント

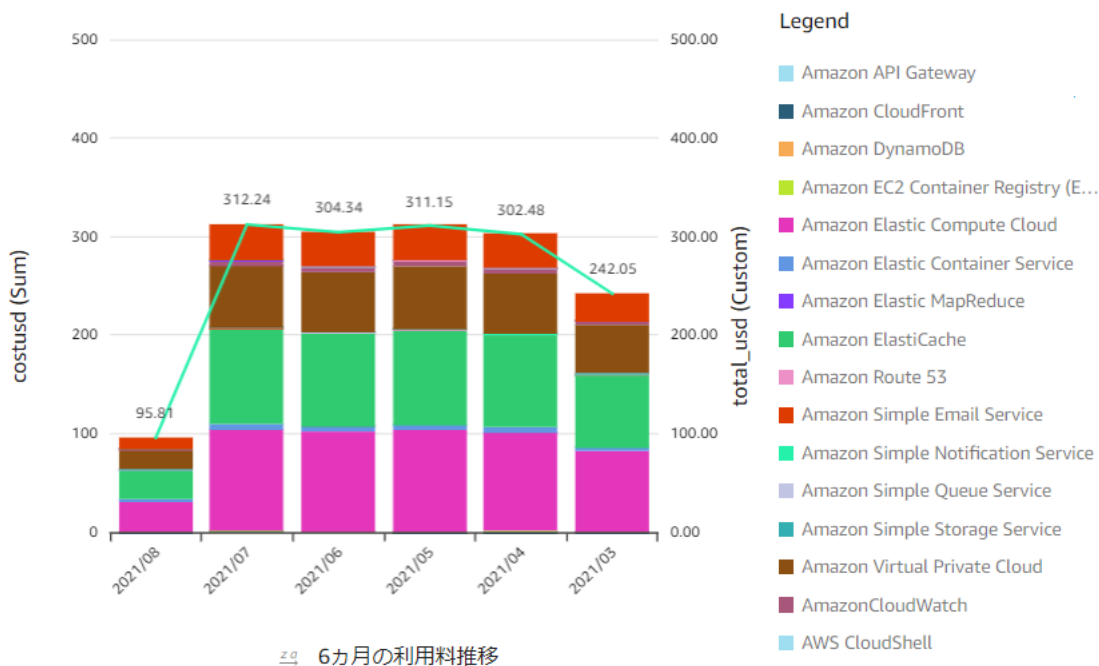


図 2 6カ月の利用料推移

SunnyCloud が提供するリセールサービスについて、留意事項があります。AWS マネジメントコンソールや CloudWatch アラーム、AWS Budget で確認できる利用金額とご請求金額には差異があります。これは、SunnyCloud が AWS 社からボリュームディスカウントを受けるための大量仕入れを行っている関係で、AWS マネジメントコンソールで確認できる金額には、割引されて実際にも安くなった金額が表示されているためです。正確な金額は専用の管理ポータルで確認をすることができます。

まとめ

AWS のコスト適正化のポイントとして、AWS パートナーが提供する AWS 請求代行（リセール）サービスを活用することがはじめの一歩と言えるでしょう。ボリュームディスカウントを活用して、クライアントに 3～5%OFF として還元するサービスを契約するだけで、簡単にコスト最適化を行うことができます。AWS 請求代行（リセール）サービスを契約後にコスト適正化のためにリザーブインスタンスや Savings Plans 等の割引サービスを購入すると、購入費用も割引がされるので、さらにお得になります。SunnyCloud が提供する AWS リセールサービス「Sunny Pay」の Sunny Pay のポイントです。3 つの「おトクに、安心、お手軽」です。

1. AWS の利用料金が全体から 5%オフになりおトクになります。
2. AWS ビジネスサポートを利用し、AWS 社に直接問い合わせができ、安心です。
3. AWS の ROOT アカウントをそのまま利用いただけるため、契約を切り替えるだけでお手軽にはじめられます。AWS アカウントの譲渡手続きが不要です。
4. 万が一に備えた AWS インフラ保険を無償でご利用いただけます。
5. 専用の管理ポータルから簡単に利用料を把握することができます。

上記以外にも、無駄なリソース発見、アーキ最適化など、コスト最適化に向けて様々なサービスを提供可能です。自社の AWS コストが最適かご不安なご担当者様は、ぜひ SunnyCloud までご相談ください。

発行者

会社概要

株式会社アイディーエス

<http://www.ids.co.jp/>

独立系クラウドインテグレータ。情報系システム構築を専門としており、

AWS などの各種システムの 構築から運用、活用支援など、数多くの提案・開発実績を有します。

特に AWS の分野においては、AWS アドバンスドティア サービスパートナーとして、

サニークラウド (<http://www.sunnycloud.jp>) のブランド名にて数多くの

アセスメント、AWS 環境構築を行っています。

- 本社所在地：〒105-0014 東京都港区芝 2-3-18 YM 芝公園ビル 5 階
- 代表：代表取締役 中野 貴志
- 事業内容：システム開発、AWS 請求代行、AWS 環境構築

お問い合わせ先

- 株式会社アイディーエス 小寺 加奈子（こでら かなこ）
- 電話番号：03-5484-7811（平日 10 時～18 時）
- メールアドレス：sunnyview-center@ids.co.jp